

○ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

- 1 **学年・教科** 特別支援級・自立活動
- 2 **単元名** 「ソーシャルスキルアルバムをつくろう」
- 3 **実践者（所属）** 池田ふみ子（住吉小学校）
- 4 **活動を始める前に**

(1) 準備するもの

- デジタルカメラ

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

- 自分や友だちの画像で、場面やルールを、視覚的に理解させる。
- クールダウン後に、自分の行動を客観的に捉えさせる。

5 **活動の流れ**

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
10分	<ul style="list-style-type: none">○日常的に、課題となる場面（児童が困り感をもっている場面、パニックの場面など）を撮影し、プリントアウトしておく。○または意図的に、身につけさせたい「よい行い」のロールプレイをさせ撮影しておく。	
	<ul style="list-style-type: none">○プリントアウトした自分の画像を見て、「よい行い」と「よくない行い」に分類する。○その時の自分の気持ちや、周りの人の気持ちを児童に考えさせる。場面理解が苦手な児童には、詳しく説明する。○アルバムは、年間を通してページを増やしていく。児童は繰り返しアルバムを見て、スキルを定着させる。	<ul style="list-style-type: none">○「よい行い」と「よくない行い」を並びかえ、因果関係を整理してアルバムに貼る。○アルバムに吹き出しをつける。考えたことと、言ったことは色分けする。

6 **取り組み後の子ども達の変容や成果**

- ・他者の視点にたつ力が弱い児童にとっては、写真で場面理解をすることが効果的だった。他者の気持ちを理解する学習にもつなげることができた。パニックも減りつつある。
- ・衝動性があり、客観的に自己を捉えることが苦手な児童にとっては、クールダウンをしてから自分の行動を振り替えるのに効果的だった。

7 **応用できます！**

- ・テレビに画像を写して個人の課題を共有し、少人数でのロールプレイに活用することができました。
- ・アルバムは家庭や交流級などで繰り返し見て、ソーシャルスキルの復習ができます。